



社会福祉協議会 だより

心配ごと、悩みごとの
ご相談はご遠慮なくどうぞ
会町内35-1270

令和2年度 事業計画・予算が決定しました

理事会(令和2年3月19日開催)・評議員会(令和2年3月26日開催)において、令和2年度事業計画及び会計予算が審議され決定しました。主な項目は、次のとおりです。
※なお、掲載が遅れましたことをお詫び申し上げます。

▶歳入歳出予算総額 51,214千円

▶事業実施計画

- 会務の運営
 - 理事会、評議員会の開催
 - 組織強化と会員増強促進（自主財源の確保：会費、共同募金など）
 - 関係機関、諸団体との連絡提携
 - 役職員の資質向上促進（研修会など）
 - 諸規程の整備

- 地域福祉活動事業
 - 児童福祉事業（子供会助成、保育所連絡協議会助成、黄色い帽子贈呈など）
 - 老人福祉事業（ふれあいいきいきサロン、ひとり暮らし友愛訪問、シルバーファッションショーの開催など）
 - 母子・父子福祉事業（親子ふれあい旅行、天草郡母子寡婦福祉連合会への協力など）
 - 身体障がい者福祉事業（心身障がい児（者）保護者会助成）
 - 福祉啓発事業（福祉スポーツ大会、福祉レクリエーション講座）
 - 調査広報事業（社協だより・子育て支援センター通信発行、ホームページ開設など）
 - 生活福祉厚生事業（福祉機器リサイクル、福祉金庫貸付、チャイルドシート無料貸出など）
 - ボランティアセンター事業（ワークキャンプ、配食ボランティアへ助成など）
 - 社会を明るくする運動（推進委員会、街頭啓発活動）
 - 心配ごと相談（年6回）、弁護士による無料法律相談（年2回）
- 受託事業
 - 生活福祉資金貸付事業

- 地域福祉権利擁護事業（福祉サービス利用援助事業）
 - 生活困窮者自立支援事業
 - 子育て支援センター事業（子育て親子の交流の場の提供と交流の促進など）
 - 地域包括支援センター事業（介護予防ケアマネジメント、相談支援・生活支援・認知症支援業務ほか）
- 共同募金配分事業
 - 老人福祉活動（老人クラブ助成、ひとり暮らし老人等友愛訪問費）
 - 障がい児・者福祉活動（身体障害者福祉協会助成）
 - 児童青少年福祉活動（子供会などへの助成）
 - 母子父子活動（母子寡婦福祉連合会運営費助成）
 - ボランティア育成活動（ボランティアグループ助成、ワークキャンプ参加援助）
- 民生委員児童委員協議会活動推進
 - 会務の運営及び会計管理
- 共同募金事業
 - 事業推進及び会計管理、災害時支援
- 日本赤十字社事業
 - 事業推進及び会計管理、災害時支援
- シルバー人材センター事業
 - シルバー人材センター運営（受給調整、会員派遣）
 - 会員向け講習会の開催

福祉機器を必要とする人へ 福祉機器リサイクルコーナー

『無料』でお譲りします。



▼申込受付期限

希望する人は、6月9日(火)までに苓北町社会福祉協議会へ電話等でご連絡ください。希望者多数の場合は、抽選になります。

抽選は、6月10日(水)午前9時から、苓北町新ふれあい館で行います。



大阪市東成区で、田尻家3人姉弟（姉1人、弟1人）の次女として生まれる。幼い頃は、戦争の真っただ中であったため、色々な所を転々として移り住んでいたが、小学生の時に父の故郷の天草に移り住んだ。

そして、中学三年生の時に再び大阪に戻ることとなる。大阪で中学校を卒業した後は、カッターシャツを作る会社でシャツのえり作り（のり付け）の仕事をしていたが、当時の1日の日給は100円という時代であった。

1年ほど勤めた後は仕事が変わって、冬が（夏用の）帽子作り、夏が（冬用の）足袋作りという二足のわらじをはいた様な会社に勤めていた。

それからしばらくして、たまたま天草に帰ってきた時に親せきの紹介で後に夫となる安俊さんと一度会ってみないか、という話になって出会う。その後、安俊さんを紹介してくれた親せきも、繁子さんが大阪へ戻る時に一緒に付いてきて結婚をすすめられた。繁子さんの父は、当初反対していて泣いて引き止められましたが、繁子さんは天草に嫁に行くことを決意。（旧姓）田尻家から（現姓）田尻家に飛び込み、昭和33年3月23日に結婚となった。

結婚後は3人の子宝に恵まれ（今ではお孫さんが5人、ひ孫さんが2人）、仕事と家事に打ち込んだ。安俊さんが、家業のみかん作りと駄賀取り（馬に坑木を積んで山から道路まで下ろす仕事）をして、繁子さんは、家業のみかん作りの手伝いとシームレスで働き定年まで勤め上げた。

定年後は安俊さんと二人で、主にポンカンと早生温州みかん作りをした。安俊さんが83歳で亡くなった後、寂しさを感じる時もあったが、近所に住む親せきに支えられていて、現在は1人でも楽しみを見つけて過ごしている。

「前んごで体はよう動かんけど、話すのが好きやせんね」

笑いながら話す繁子さんは、生き生きとされていた。



苓北町で、元気に生き生きと暮らしていらっしゃる『たっしゃかもん』を紹介します。

輝いています! たっしゃかもん

No.228

話すことが大好き!
笑うのが元気の源です。

たじりしげこ 田尻繁子さん

(昭和10年11月17日生まれ) 満84歳 浦区在住

問 好きな食べ物

粉もんが好きで、うどんとかラーメンとか加工してあるが良い。お好み焼きも、一人でおってもキャベツがあればちょこちょこっと作るせん。

問 好みの異性のタイプは

一応言うなら、なんさま背の高っか人でやせとる人が良かね。昔の話で言えば「太陽の季節」を見て育ったせん、石原裕次郎が好きやった。

問 私の趣味

朝から新聞を読んだり、本を読むのも好き。特に、サスペンスと時代劇ものが好きで、テレビでもよく見ます。テレビは、おもしろかとがあると夜11時とか遅くまで見てしまうせんね。昔は、映画館に行って見るとも好きやったと。

問 私の健康法

何せんとばってん、立ってからイスを支えにして、つま先立ちの運動を1日50回ほどするぐらい。あとは、ラジオ体操第1第2とかかな。

問 思い出

大昔で思い出とも違うとばってん、集団疎開（学童疎開）したせん。そん時は朝からお寺で参った後、豆をつぶした物だけしか食べれんでお腹をよう空かしとった。1か月に1回だけ、近所の方の所に連れて行ってもらい、少しだけごちそうを食べた事だけせんな。

問 若い世代へ伝えたいこと

私の幼少時代の事で、終戦直後で本当に物がなが時代で大変だった事。今と育った環境が、全く違ったことを分かってほしかな。あれこれしてほしかわけではなかけて、今は恵まれるという事を知ってほしかせんな。

問 町へのメッセージ

志岐が中心だけど、坂瀬川の隅の方にも目を向けてほしかせんな。ばってん福祉関係の方では、良くしていただいているので助かっていて、田舎だからこそ良か部分だと思つります。